



kyoto
logie

京都路地入



二条通りの西の果てには諸説ありますが、
今回はキリのいいところで二条城から出発します。
少し青空が見えたりもしていますが、今日は曇天でした。



なので東大手門を撮ろうと思ったんですが、
改修工事のため白い幕で覆われていました。
真ん中のおじさんが、鯉のぼりを持っていたのが面白くて
撮ってみたんですが、どうやらガイドの人が入場券を
買っている間、預かっていたようです。

にしても、皆さんどうしてトレッキングの格好なの？



堀川通を越えて、これから東に向かいます。
右手には2年前に営業終了した京都国際ホテル

阪急不動産が跡地にマンション立てようとしてたんですが、
京都市に反対されて断念。

建築とはその土地の歴史と文化の一部になるということですから、
二条城の前に、そんなん立てたらあかんというのは、子供でもわかる。



西陣には織り屋さんが多く、大宮は染め屋さんが多かったですけど、
この界限は紋を抜く仕事のお店をよく見かけました。

二条通りはもともと薬種屋さんが多かったそうです。
この先に行くと家具屋さんが集まるところもあるし。
同業の人が集まるのには、その方が融通きかせやすいとか
色んな旨味があるからなんでしょうね。



ちょっと横道にそれてみました。
路地って、これぐらいの幅のイメージですね。

い酒店
向田精練

槌屋町

喜裕

芳一

食品(株)

達男

佳広

田桐箱

文男

若狭屋

染工(株)

田

転車店

木伸夫

今井寿一

大谷寛和

小倉昌男

木村寛次

小森 衛

田中嘉津男

燈福永
献辨財天

齋藤壽々子

神谷尚孝

齋藤壽始子

岡田順作

林 實

實

福永組



その路地の途中にこんな弁天さんが。
こういうのあっちこっちにあります。
最初はなんでこんなところにあるのかな、と思っていました。

多分、なんですけど、毎日お参りするのに、いちいち遠くの神社まで
行ってられない。昔は今ほど交通の便が良くなかったですから。
だから、近くに勧請したのではないかと。



ベランダの下にアシナガバチの巣が。
言うたげの方がいいんでしょうか？



仕立て直し屋さんなんだか、粋な看板です。
Denim & Casualと書いてあるので、ジーンズの古着とかを
中心にやってはるんでしょうか。

最近の若い人たち、ミシンとかわかるのかなあ。



食べ物屋さんの側壁にいてはった鍾馗さん。
なかなかアップでは見れません。
大雑把に作られている割には、左手の作りが丁寧です。



庭師さんが、大きな脚立を持って出入りしてはったお宅。
壁の色が綺麗です。



面白いガラスです。
天気のいい日に、内側から見ると綺麗やろなあ。



ガーデニング。

牛乳の箱の上にも植木鉢。右上の木の方を使ってるのか。

あまり、太い人は出入りできなさそうな玄関。

防火バケツのないのが惜しい。



新町通
二条新町
下る

ここも壁の色に惹かれました。
新町まで来ましたねえ。9：50頃です。



なんやろう、、、進撃の巨松。
壁の柱がまっすぐじゃないのもいい。



紬って何？というところから
帯って染められるものなの？とか、
小巾、二巾っていう数え方もあるんやなあ、とか。
なんや、知らんことていっぱいあるなあ、って思います。



駿河屋さんもあっちこっちにありますが、ここは二条駿河屋さん。

このカブは配達用でしょう。

細い路地の多い京都では、軽自動車よりも
カブの方が場所とらんでいいでしょうね。

って、思いながらカメラ構えてたら、向かいのお宅の
乗用車が車庫入れを待っていてはりました。

すいませーん。



古色蒼然というか、
古き良さというか。

玄関口のコンクリの磨かれたように光ってるのと、
防火バケツがきちんとあるべき姿に積み上げられてるのとか。

この和菓子屋さんが、どんだけきっちりとした
仕事をしはるか、というのが分かりますね。



二階の様子を見ると、今住んでるのかどうか、ちょっと怪しいです。

両側は既にざんない新建築の家になっています。

このええ佇まいの町家が、残ってくれたらいいなと思います。



二条通りが薬屋さんが多い通りだったというのは
冒頭にも書きましたが、ようやくその名残を見つけました。

この神社 どう書けばわかっていただけるか、、、

_____ 屋根 _____

二条通り | ガラス_床_ガラス | 地面 鳥居 本殿

伝わっている気がしない、、、。



中を覗くとこうなっています。手前に立派な神輿と、獅子。





そのお隣は組合ですね。二階が和洋折衷モダンになっています。



赤ですか！

、、、って感じの看板。

よっしゃやるぞ、という意気込みが伝わってきますが、
商売は、もうたたまはった様子です。



ちっちゃい和漢薬のお店が残っていました。
小さいおじいさんが、何か伝票をめくってはりました。
分銅と、スライドで細かい目方を図るこの秤。
懐かしいです。



アンティークのお店の”アンティークです”、という感じの
ドアを撮影したんですが、アンティークになりかけの
カメラマンも写ってしまいました。



だいぶ東山が近くに見えてきました。
何かな、と思ったら、運動場が別のところにあるみたいです。
なかなか大変ですね、街中の学校は。



ここのドーナツはよばれたことないんですけど
こう書かれると、食べたくなくなってきました。

ちょっと早かったな。



何かな、と思ったら、革の工房さんです。
カメラのカバーとかストラップとか、自分で作ったりするんで、
プロはどうやってつくらはるのか興味はあるんですが、
どっちかっていうと、ガラス障子の木枠のRの美しさに
ぼーっとなってしまいました。
すごい艶かしいです。



カレンダー、なんぼぶら下げてますのん？



おーっと、これは活版印刷屋さん。
奥の活字もすごいし、印刷機もすごい。
弟子入りしたい。
将来は活版印刷屋もええなあ。



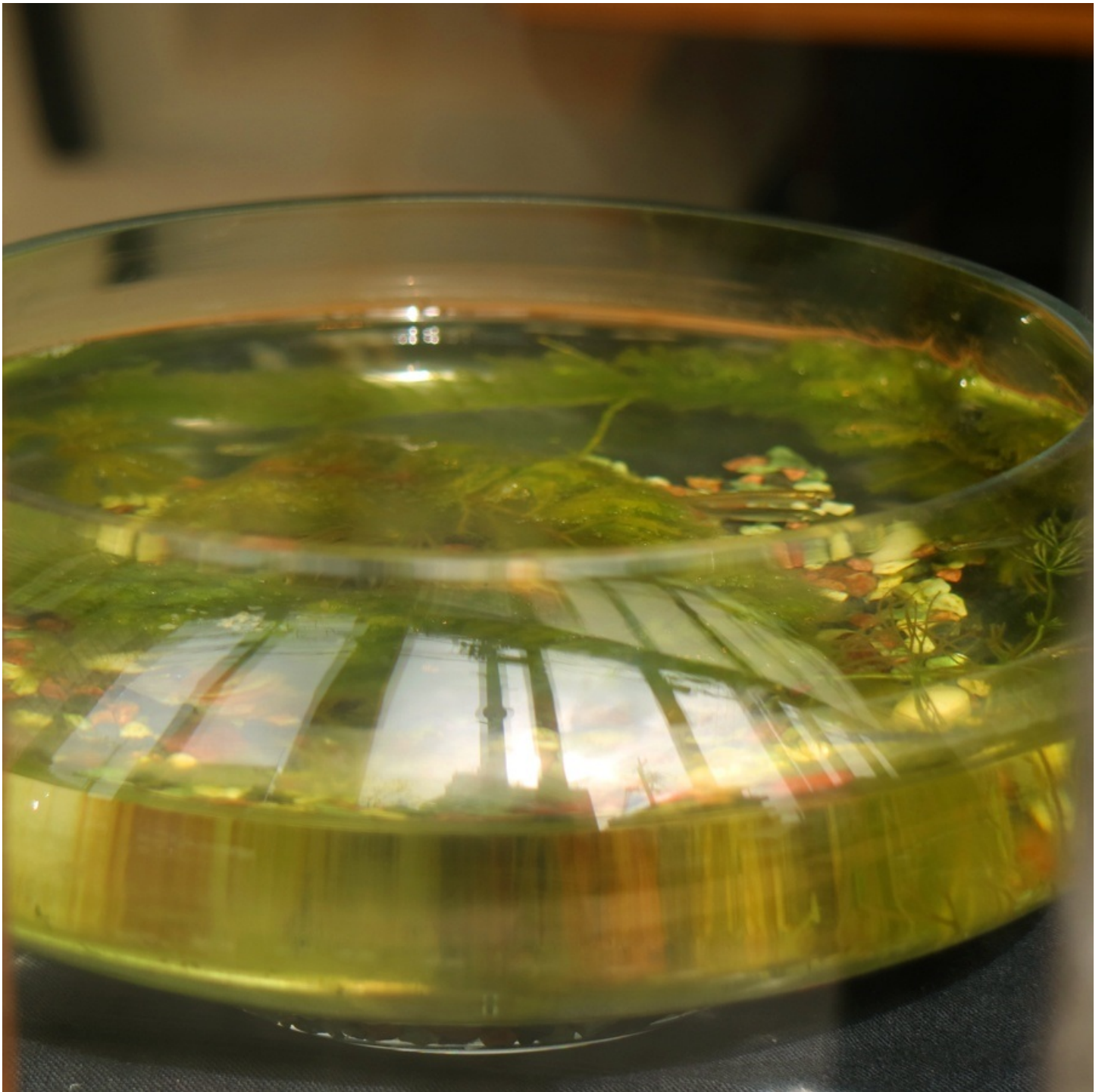
鴨川渡ります。10:59です。
ちょっとお腹すいてきました。



川端通りを渡って、電線ごちゃごちゃで、わやくちゃですね。

今日は天気が悪い。

ま、路地ではないです。



金魚鉢置いてました。



一回ぐらいは、風の強い日にどっかに飛んで行ってるでしょう。



時計屋さん。お仕事中。
職人て、やっぱりカッコいいですね。
仕事してる時は。



細見美術館の側面

今は春画展をやっていて、テレビ局のカメラが表で取材していました。

入り口に18歳以下入場禁止、って書いてました。

別にいいと思うんですけど。



岡崎まで来ました。

京都会館が新しくなってロームシアター京都になっています。
新しいホールは前評判もよく、これからいろんな公演が上演されるんでしょう。

ただちょっと、本屋さんやカフェが入っているんですが、
なんだかよく見かける組み合わせのセットで、
そこがちょっと残念な感じがします。

二条通りはこの先、東山のどんつきまで続いているんですが、
珍しく足をやってしまって、これ以上進むのが辛くなってしまいました。



おまけ。

帰り道で出会った、今日の猫さん。



梅も咲いてました。今年は本当に早いな。

[passer un après-midi 12](#)

[京都路地入-kyotologie- えべっさん](#)

[京都路地入-kyotologie- 京都駅0番線](#)

[le temps](#)

[からくれないに IV](#)

[京都路地入-kyotologie- 御所一般公開](#)

[Travelogue ep.9 このPizzaは出前を頼めない](#)

[京都洛以外-Kyoto Lucky guy 2](#)

[Travelogue ep.8 タルトまで60km](#)

[京都路地入-kyotologie- 萩を巡りて](#)

[Travelogue ep.7 晩夏を探して](#)

[passer un après-midi 11午後の過ごし方](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭 後編](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭](#)

[京都洛以外-kyoto Lucky guy 三室戸寺](#)

[京都路地入-kyotorogie 一保堂](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵 茶室](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)

[Monochrome](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけれなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のARIA」](#)

「黄金の麦畑」 [1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

3.Adajo

「黄昏の王国」

[イーリアス編](#)

[アリシア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo「Hina」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo「からくれないに ni」](#)

[Photo「bleu, jaune, vermillon」](#)

[Photo「H.45」](#)

[Photo「Fly me to Paris Ⅰ～ⅩⅣ」](#)

[Photo「祇王 こけのころも」](#)

[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

[「ネガティブズ2」](#)

[「ネガティブズ」](#)

[Photo「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo「空と僕と自転車と」](#)

[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき春の野を行く」](#)

[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo「空と木とたまに月」](#)

[Photo「からくれないに」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちようちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルーズ](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンス あのころの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧憬だけを」](#)

[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)